



無鄰菴は、明治二十七〜二十九年（一八九四〜九六）に明治・大正の元老山縣有朋が京都に造営した別荘である。敷地面積は三三三五㎡（約九五〇坪）。昭和十六年（一九四一）に山縣家より京都市に譲渡され、昭和二十六年（一九五一）には近代の名園として、国の名勝に指定されている。

庭園

山縣自らの指示により、七代目小川治兵衛が作庭したもので、東山を主山とし、明るく開放的な芝生空間をもつ。また、琵琶湖疏水の水を引いた軽快な流れを有した自然趣向の庭園は、作庭当初から高い評価を受けており、京都岡崎・南禅寺界隈における別荘群の先駆けとなった。

建物

簡素な木造二階建の母屋、藪内流燕庵を模して造られた茶室及び煉瓦造二階建の洋館の三つから成る。

【洋館】

明治三十一年五月建立。二階には江戸時代初期の狩野派の絵師の手による金碧花鳥図障壁画で飾られた部屋があり、ここで明治三十六年（一九〇三）四月二十一日、元老山縣有朋、立憲政友会総裁伊藤博文、総理大臣桂太郎、外務大臣小村寿太郎の四人によって、日露開戦直前のわが国外交方針を決める「無鄰菴会議」が開かれている。

庭園のみどころ

①母屋から眺める開放的な芝生の丘と東山との一体感ある景色は格別。



⑥作庭当初の芝生空間には、自然に遷移した約50種の苔が一面に広がる。



②玄関を入ると京都の風情漂つしなやかな四方竹の坪庭が迎える。



⑦水の上の飛石（沢飛石）を渡る時、水の動きを近くに感じ、心躍る。



③水にリズムミカルな動きをあたえる瀨落ちが奏でる水音が心地よく響く。



⑧奥に佇む三段の滝は、東山から水が流れ落ちてきたような豪快さ。



④自然さながらの芝生空間では、野趣にとんだ野花を大切に育む。



⑨パネル展示では、山縣の美意識を読み取った庭園の育み方を紹介。



⑤山縣のことばが綴られた石碑からは、感性や美意識がうかがえる。





開場時間

4月 - 6月 午前8時30分 - 午後6時
 7月 - 8月 午前7時30分 - 午後7時
 9月 - 10月 午前8時30分 - 午後6時
 11月 午前7時30分 - 午後6時
 12月 - 3月 午前8時30分 - 午後5時

※最終入場は、閉場時間の30分前までです。

休場日

12月 29日 - 12月31日

※平成29年より正月も開場しています。

入場料

お一人様 410円

※小学生未満は無料

お抹茶

お抹茶和菓子つき 400円

※母屋1階の主座席にて、一服いかがでしょう。

お抹茶券は受付にてお求め下さい。

茶室および母屋2階の使用料

午前9時 - 正午 3,080円
 正午 - 午後5時 3,600円
 午前9時 - 午後5時 5,140円

※ご利用の際は、事前に無鄰菴事務所までお申し込み下さい。

開場時間外の貸切利用も、事務所までお問合わせ下さい。



茶室



母屋2階

地図



アクセス

電車 地下鉄東西線蹴上駅から徒歩約7分
 市バス 岡崎公園美術館・平安神宮前から徒歩約9分
 神宮道から徒歩約10分
 市バス（京都岡崎ループ）.....

南禅寺・疏水記念館・動物園東門前から徒歩約1分
 タクシー 約20分

※駐車場はございません。公共交通機関のご利用をおすすめしております。

お問い合わせ

無鄰菴管理事務所

〒606-8437 京都市左京区南禅寺草川町31番地

TEL・FAX 075-771-3909

<http://murin-an.jp/>

(指定管理者 植彌加藤造園株式会社)

平成28年4月発行